

**若 狭 町**  
**男女共同参画アンケートの結果**

**2023年(令和5年)**

**若狭町男女共同参画推進協議会**

## 【基本理念】誰もが自分らしく幸せに生きていけるまち

基本理念の実現のため、次の4つの基本目標を柱として総合的に推進します。

### 基本目標Ⅰ 互いの価値観を認め、互いを尊重できる意識づくり

性のあり方を含め、考え方や価値観は一人ひとり異なっていることを知り、「お互い」がそれぞれの価値観を理解し合い、尊重し合える意識の醸成を図ります。

一人ひとりの取り組み

- ・自分の価値観を他人に押し付けないように努めます。
- ・一方通行の理解ではなく、「お互い」の価値観や考え方を「お互い」が認め合います。

### 基本目標Ⅱ 誰もが居心地良く、安心して暮らせるコミュニティづくり

暴力やハラスメントに関する相談体制の充実や性的少数者への理解を促進し、誰もが居心地の良いコミュニティをつくることによって、社会活動においてチャレンジする活力を生み出します。

一人ひとりの取り組み

- ・配偶者やパートナーが家事をしてくれることに対し、感謝の気持ちを伝えます。
- ・困っていることがあるときは具体的に伝え合い、協力し合います。

### 基本目標Ⅲ 誰もが得意分野を活かして活躍できる社会環境づくり

性別や年齢、国籍等に左右されることなく、それぞれが自分の得意分野で活躍し、みんなでまちや集落を活性化させていくことを目指します。

一人ひとりの取り組み

- ・生活の中で自分の得意分野を活かし、何事も楽しむ意識を持ちます。
- ・地域活動で様々な人との意見交流をし、立場の異なる人の考え方にも耳を傾けます。

### 基本目標Ⅳ 仕事と生活の調和の実現を目指すまちづくり

男女共に育児休業や介護休業を取りやすい環境の整備や、子育てや介護などを社会で支える仕組みづくりを進めるとともに、男女が共に家事や集落活動を担う意識の醸成を図ります。

一人ひとりの取り組み

- ・人任せにせず、みんなが「自分ができることは自分でする」努力をします。
- ・仕事や家事と余暇をバランス良く保てるように、家庭での役割分担を見直します。

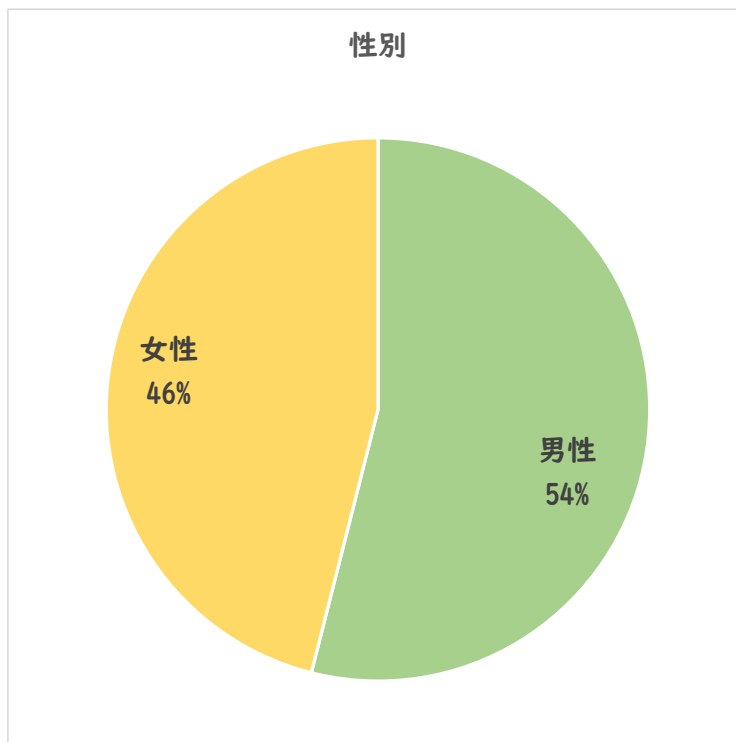
目標の達成に向けて、具体的な取組を「一人ひとりの取り組み」「地域社会の取り組み」「町の取り組み」毎に計画し、更にはその達成状況を確認する検証方法を明確にしました。

今回の集計は、若狭町の集落に対し戸数割り当てで実施いたしました。

実施日 2023年11月 対象者 540名 回答 456名 回答率 84%

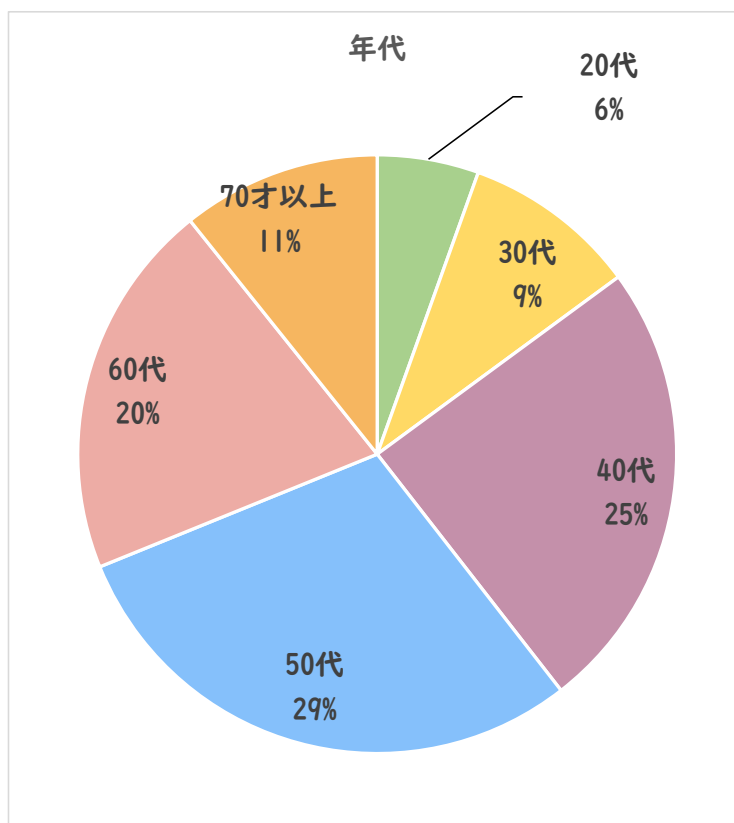
● 問1 あなたの性別を教えてください。

年代	三方	三十三	西田	鳥羽	瓜生	野木	三宅	熊川	全体
男性	75	38	20	27	22	22	34	8	246
女性	65	30	12	23	23	17	28	12	210
合計	140	68	32	50	45	39	62	20	456



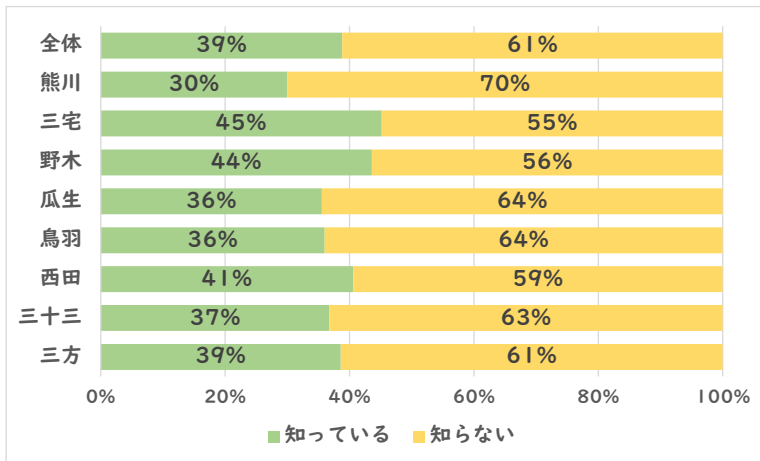
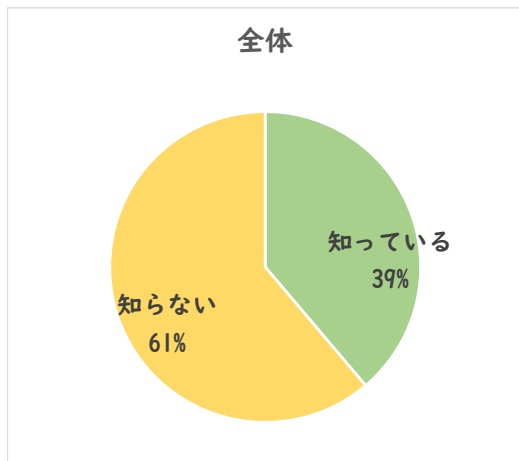
● 問2 あなたの年齢を教えてください。

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	25	43	112	134	93	49	456



● 問3 あなたは、若狭町において「男女共同参画プラン」が策定されていることを知っていますか。

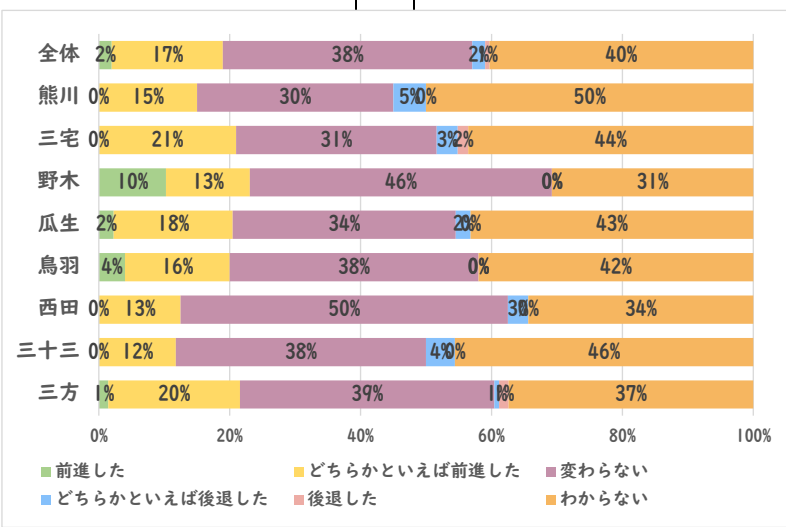
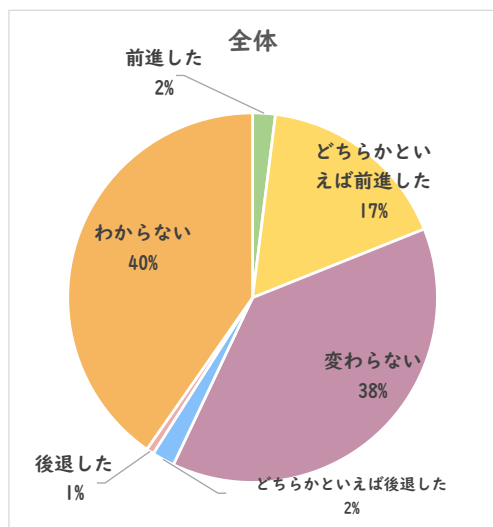
	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
知っている	30	24	13	12	9	4	9	9	5	11	9	8	15	13	2	4	177
知らない	45	41	25	18	11	8	18	14	17	12	12	10	19	15	6	8	279
合計	75	65	38	30	20	12	27	23	22	23	21	18	34	28	8	12	456



若狭町の「男女共同参画プラン」の認知度については、全体では「知っている」と回答した方は39%にとどまっている。  
 地区別では、「知っている」と回答した方は、熊川地区が30%、三宅地区は45%と15%の認知の差があり、多少ばらつきがあった。

● 問4 あなたは、国や県、町、地域などでのこれまでの取り組みにより、若狭町内での集落や自治会など、地域での男女共同参画が進んでいると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

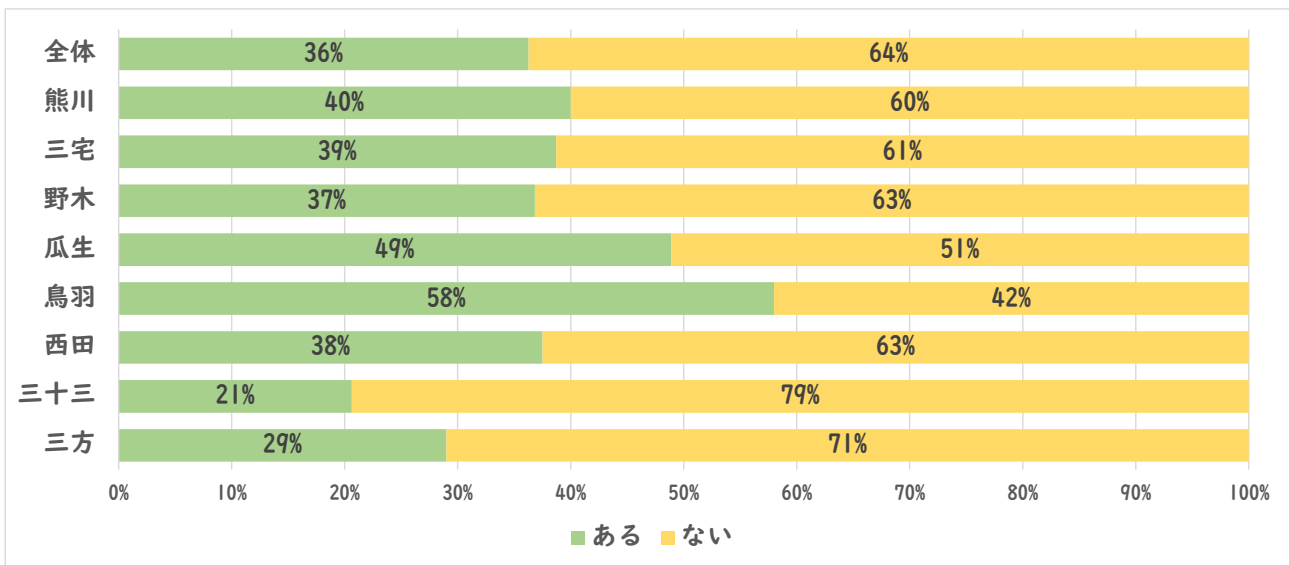
	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
前進した	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4	0	0	0	0	0	9
どちらかといえば前進した	16	12	4	4	2	2	4	4	2	6	1	4	7	6	1	2	77
変わらない	33	21	15	11	11	5	11	8	9	6	12	6	12	7	2	4	173
どちらかといえば後退した	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	9
後退した	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
わからない	22	30	17	14	6	5	12	9	9	10	6	6	13	14	5	5	183



地域での男女共同参画が「前進した」「どちらかといえば前進した」と回答した方は19%、一方で「どちらかといえば後退した」「後退した」と回答した方は3%であった。前進はしているかもしれないが、変わらない、わからないと回答した方は約8割であった。

● 問5 あなたの住んでいる集落や自治体では、女性や少数意見となる立場の人の意見を反映させる取り組みがありますか。

	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
ある	22	16	8	5	8	4	17	12	12	10	11	3	17	7	4	4	160
ない	50	43	29	21	12	8	10	11	10	13	11	13	17	21	4	8	281



地域別にみると取り組みがあると回答した方は、鳥羽地区では58%、三十三地区では21%であり、37%の差があった。

● 問5で「ある」と回答された場合、どのような取り組みか教えてください。また、「ない」と回答された場合、どのような取り組みがあるとよいと思いますか。

「ある」

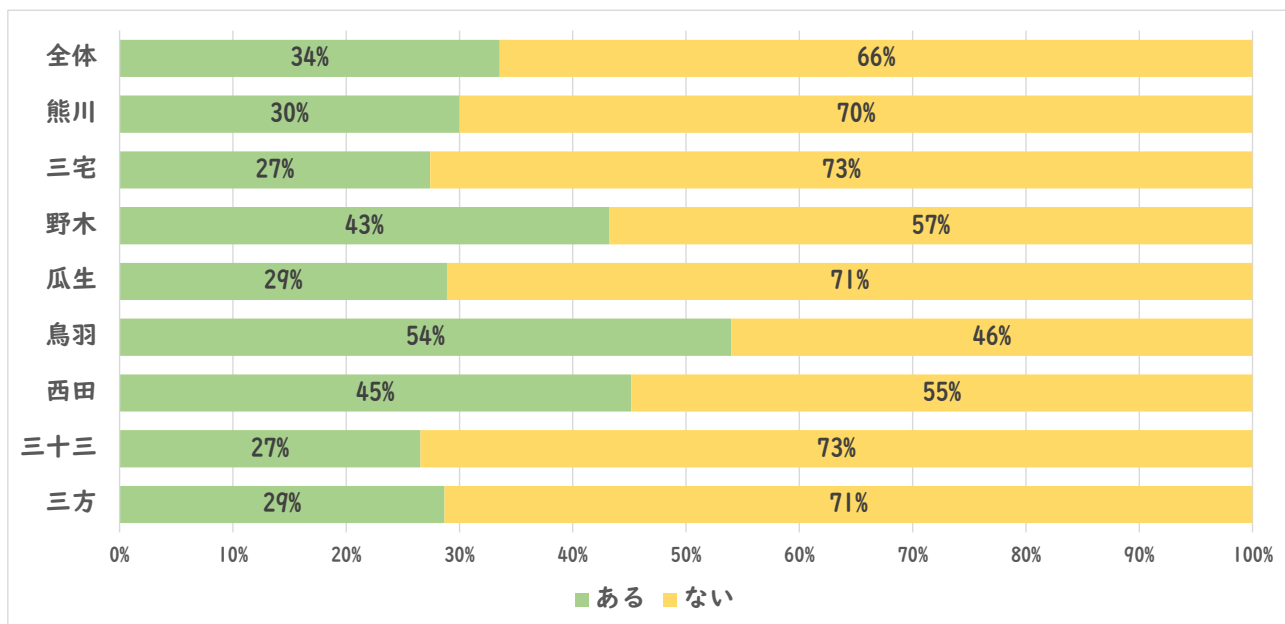
- ・次期区役員の選考委員の中に女性の会代表を起用
- ・5ヵ年計画を策定する際、女性の意見も尊重される。
- ・女性の会の意見や要望などが、自主学級もしくは区に届くようになっており、その都度最善策を考え実行している。
- ・取り組みというか、女性・若い世代の意見を聞き入れてくれるようになってきた。

「ない」

- ・女性若者が集う交流の場がないため、女性、若者対象のイベント実施（公民館、公会堂は高齢者ばかり）
- ・直接発言することは難しいため、アンケートや目安箱の設置
- ・高校生が探求活動で意見を出したとき、「お金がない」の一言で却下せず、聞く姿勢をもってほしい

● 問6 あなたの集落・自治会において役員の負担軽減について話し合いをされたことがありますか。

	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
ある	26	11	10	7	8	6	15	12	4	9	12	4	11	6	5	1	147
ない	47	45	27	20	12	5	12	11	18	14	10	11	23	22	3	11	291



全体では、話し合いをしたことがあると回答した方は34%であったが、鳥羽地区のみあると回答した方が、半数を超えた。

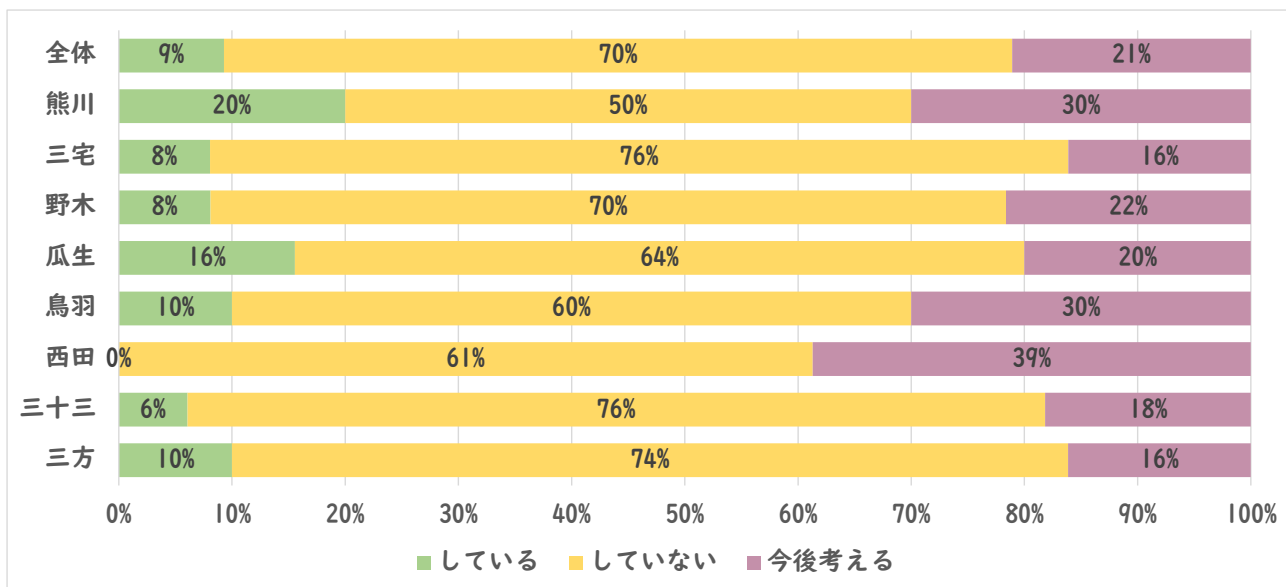
● 問6で「ある」と回答された場合、どのような内容か教えてください。

「ある」

- 熊川地区：役員数・行事などの削減
- 三宅地区：役員の成り手がなくないことについて、高齢化による問題について
- 野木地区：役員数・任期を減らす・仕事内容の簡素化
- 瓜生地区：役職の統合・年齢制限の撤廃
- 鳥羽地区：女性の会にも役職を担ってもらおう・年賀式や直会の簡略化
- 西田地区：役員負担の軽減・女性の会解散
- 三十三地区：行事の見直し・集金の軽減
- 三方地区：リモートやメールでのやり取り

● 問7 あなたの集落・自治会において女性の役員登用についての雰囲気づくりをされていますか。

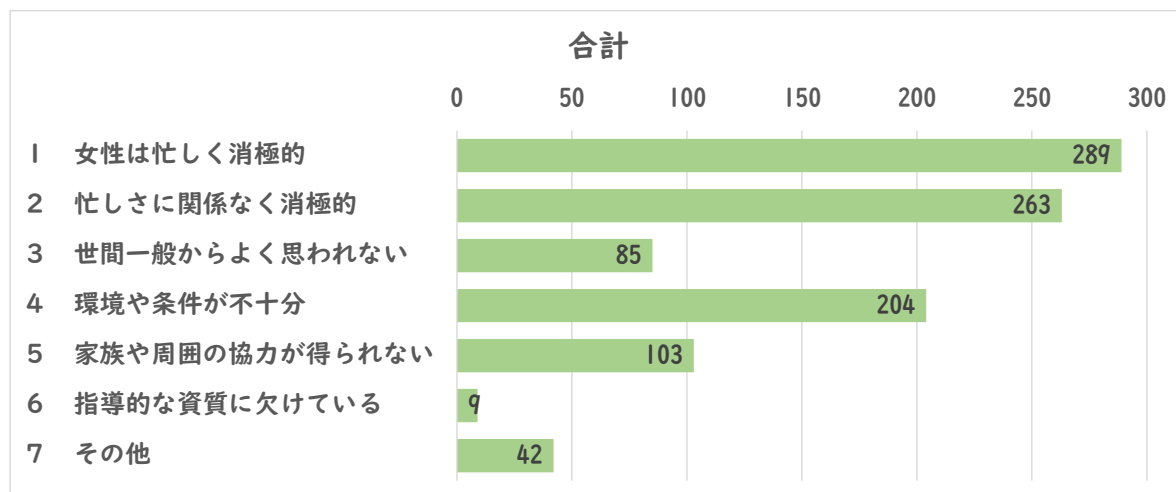
	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
している	6	7	3	1	0	0	2	3	2	5	1	2	2	3	2	2	41
していない	53	43	28	22	10	9	17	13	17	12	13	13	24	23	3	7	307
今後考える	14	7	7	5	10	2	8	7	3	6	8	0	8	2	3	3	93



熊川地区は、雰囲気づくりをしていると回答した方は、20%であった。一方で西田地区は0%であった。地区によって差がみられる。

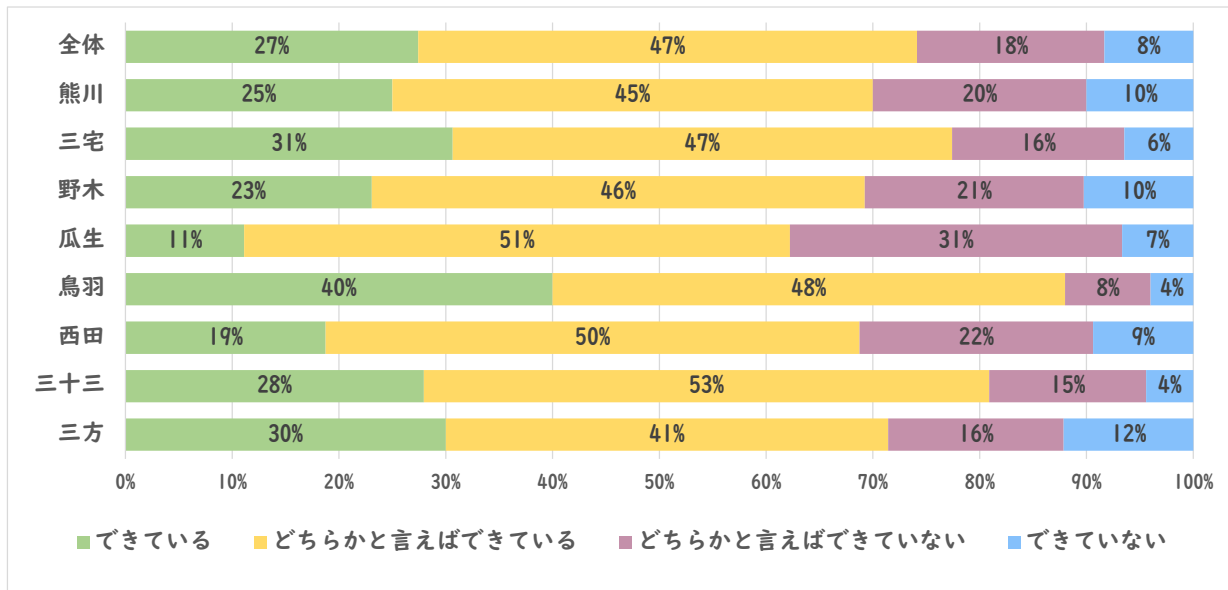
● 問8 各集落・自治会で女性の役員や指導的立場につくことが少ない理由は何だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 女性自身が子育てなどで忙しく、指導的な立場につくことに消極的だから	289
2 女性自身が、余裕が出てきても、指導的な立場に就くことに消極的だから	263
3 女性が指導的立場に就くことが、世間一般から快く思われないから	85
4 女性が能力や個性を発揮できる環境設備や条件が不十分だから	204
5 家族や周囲の協力が得られないから	103
6 女性は指導的な資質に欠けるから	9
7 その他 ( )	42



● 問9 あなたは、地域活動に参加できていますか。

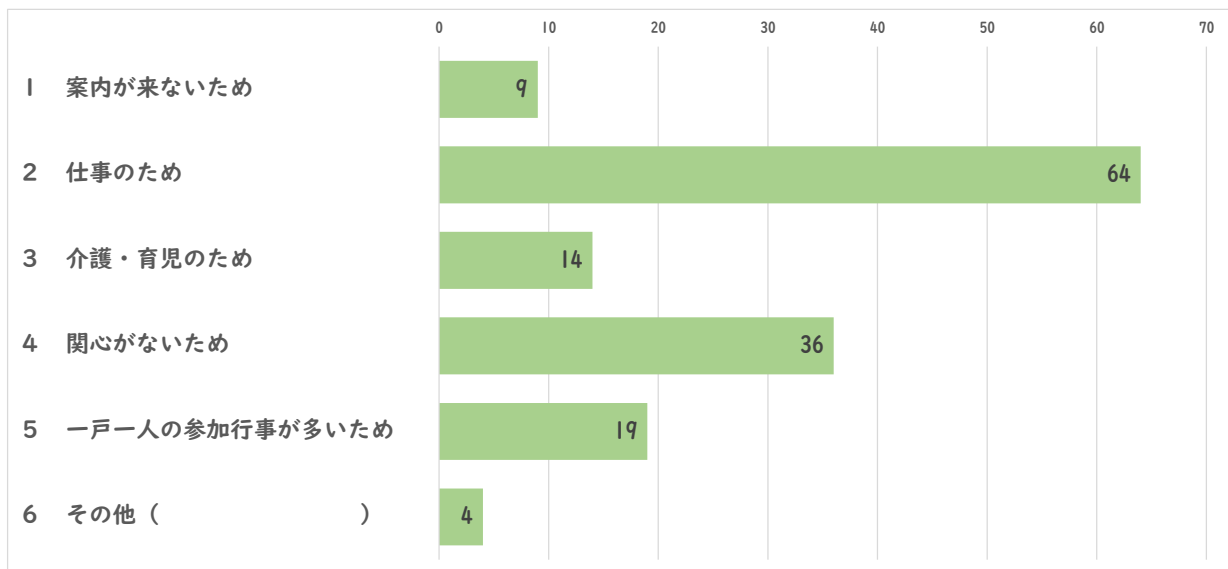
	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
できている	32	10	12	7	4	2	15	5	4	1	8	1	14	5	4	1	125
どちらかと言えばできている	34	24	22	14	13	3	11	13	11	12	10	8	17	12	3	6	213
どちらかと言えばできていない	7	16	4	6	3	4	1	3	6	8	3	5	2	8	1	3	80
できていない	2	15	0	3	0	3	0	2	1	2	1	3	1	3	0	2	38



全体では約7割が参加できていると回答している。地域別では参加できていると回答したのが、1番多かったのは鳥羽地区の88%、2番目が三十三地区の81%、3番目が三宅地区の78%という結果になった。また一番少なかったのは、瓜生地区の62%であり、鳥羽地区とは26%の差があった。

「3・どちらかと言えばできていない」・「4・できていない」と回答された場合、その理由を次の中から番号に○をつけてください。【複数回答可】

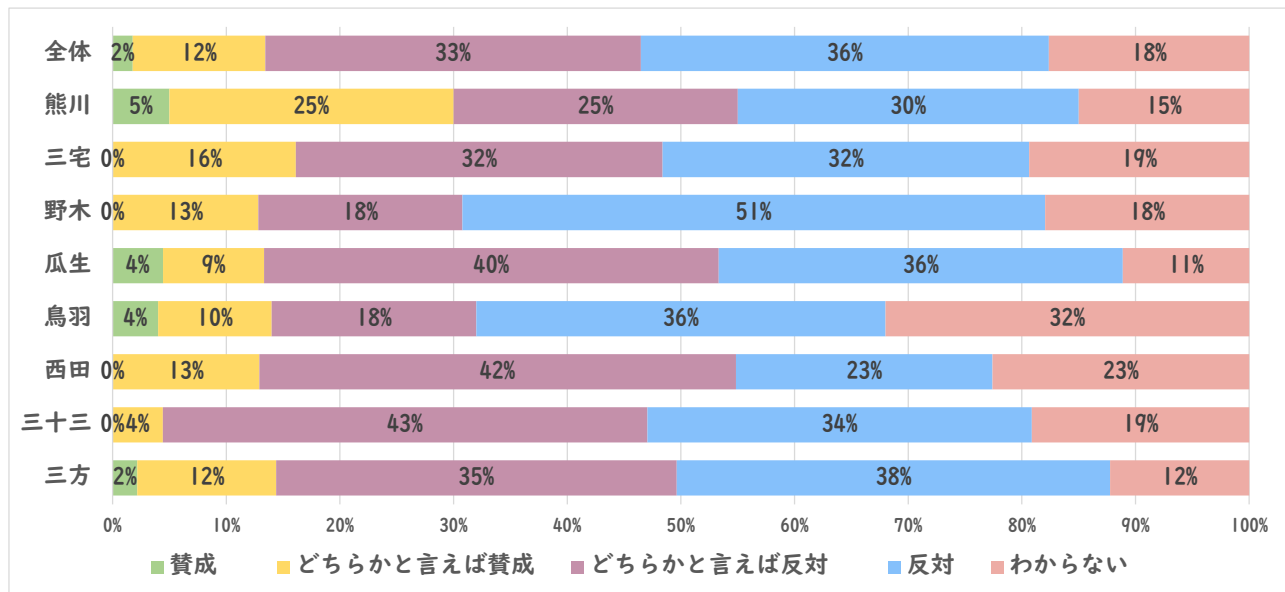
1 案内が来ないため	9
2 仕事のため	64
3 介護・育児のため	14
4 関心がないため	36
5 一人の参加行事が多いため	19
6 その他 ( )	4





● 問10 「男は仕事、女は家庭」という考え方について  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

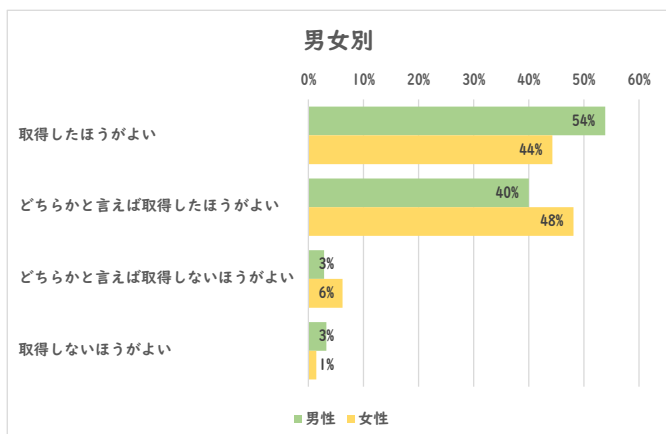
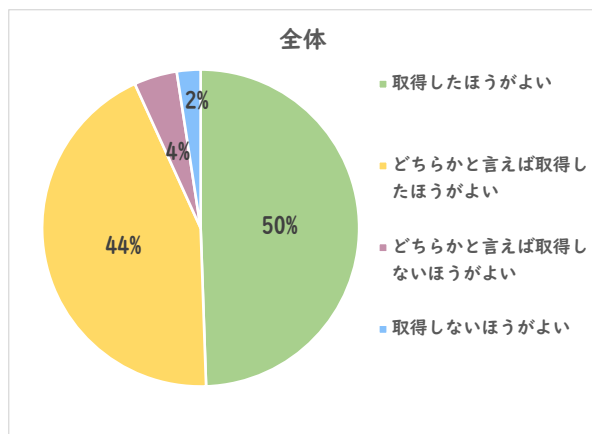
	三方		三十三		西田		鳥羽		瓜生		野木		三宅		熊川		全体
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
賛成	2	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	8
どちらかと言えば賛成	12	5	1	2	3	1	3	2	2	2	3	2	5	5	0	5	53
どちらかと言えば反対	26	23	14	15	8	5	5	4	7	11	2	5	7	13	2	3	150
反対	26	27	12	11	4	3	9	9	10	6	12	8	15	5	3	3	163
わからない	8	9	11	2	4	3	9	7	2	3	5	2	7	5	2	1	80



全体では、約7割が「どちらかと言えば反対」「反対」と回答した。野木地区では「反対」と回答した方が半数以上であった。一方で全体で「賛成」「どちらかと言えば賛成」回答した方14%だったのに対し、熊川地区では倍以上の30%であった。地域によって賛成反対は偏りが見られた。

● 問11 男性の育児休暇取得についてどのように考えますか。

	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
取得したほうがよい	9	13	11	13	26	21	39	20	36	16	11	10	132	93	225
どちらかと言えば取得したほうがよい	3	0	5	10	24	29	33	31	19	18	14	13	98	101	199
どちらかと言えば取得しないほうがよい	0	0	1	0	1	5	4	4	1	3	0	1	7	13	20
取得しないほうがよい	0	0	3	0	3	3	1	0	1	0	0	0	8	3	11



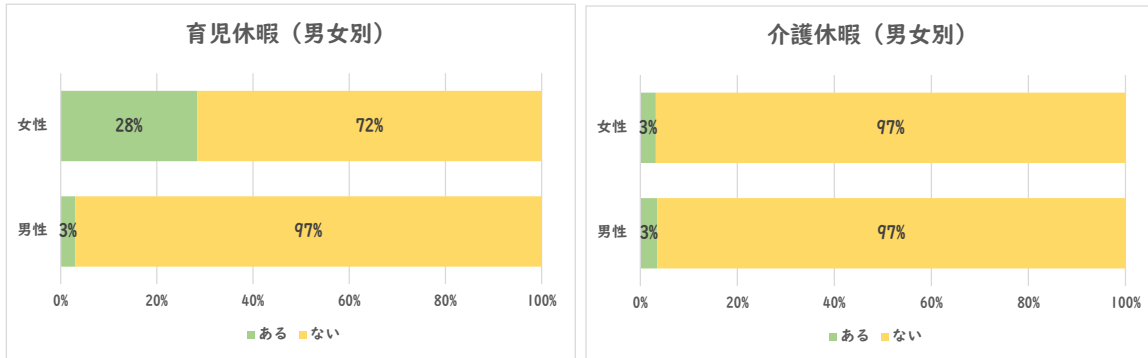
全体では、半数が「取得したほうがよい」と回答。男女別では、「取得したほうがよい」と回答した男性は54%、女性は44%であり、女性より男性のほうが、「取得したほうがよい」と回答した方の割合が多かった。

● 問12 あなたは育児休暇・介護休暇を取得できましたか。

育児休暇	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		全体		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
ある	0	0	2	9	2	22	2	14	0	8	1	3	7	56	63
ない	12	9	17	12	52	34	71	39	52	28	21	19	225	141	366

介護休暇	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		全体		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
ある	0	0	0	1	2	0	4	5	1	0	1	0	8	6	14
ない	12	9	17	17	52	51	69	48	52	35	19	22	221	182	403

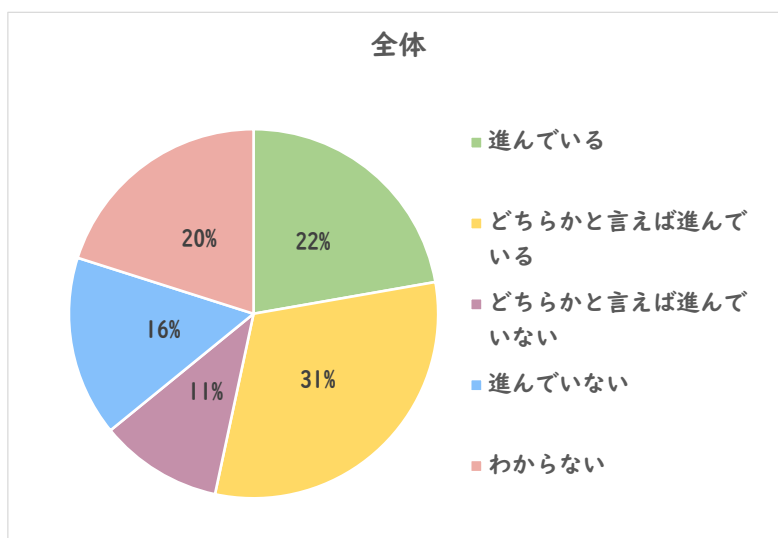


育児休暇で「ある」と回答した女性は28%であり、男性は3%であった。女性は、正社員雇用でない方や、主婦の方、まだ未婚のかた、子供がいない方からもアンケートを実施したため約3割であったと推測される。

介護休暇では、男女の差はなく、「ある」と回答した方は、3%であった。介護休暇の取得率は低く、取得しにくい状況である。

● 問13 お勤めの方にお聞きします。育児休暇や介護休暇、有給休暇など必要な時に取得できるよう、企業等で業務の見直しや効率化を進められていますか。

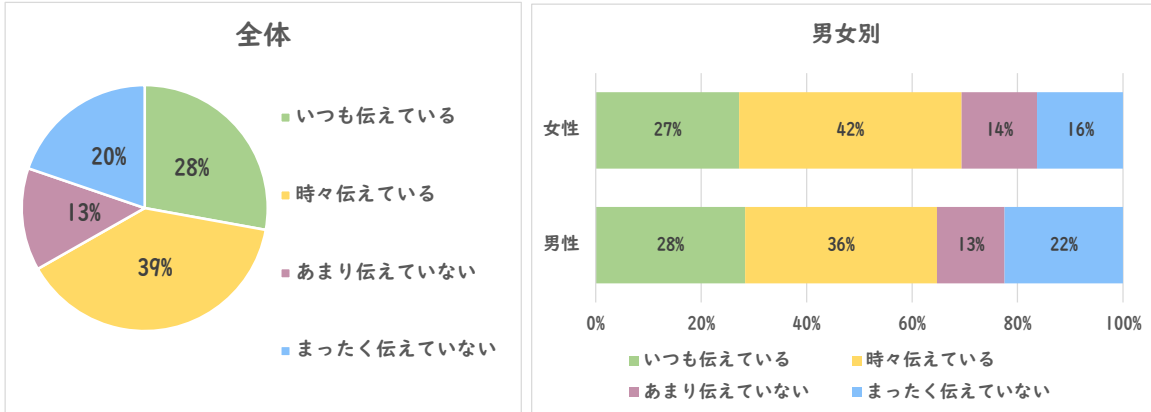
	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		全体		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
進んでいる	4	3	7	4	11	15	21	14	9	4	1	0	53	40	93
どちらかと言えば進んでいる	5	4	6	9	19	17	21	16	15	15	2	1	68	62	130
どちらかと言えば進んでいない	1	0	2	2	7	7	10	7	4	4	0	1	24	21	45
進んでいない	2	2	3	3	13	9	13	7	9	3	2	0	42	24	66
わからない	0	1	2	3	4	9	11	10	13	9	10	12	40	44	84



「進んでいる」「どちらかと言えば進んでいる」と回答した方は半数以上であった。進んではいるが、実際に取得できるかは、企業によって様々である。また、アンケートは年代ごとに集めたものであるため、実際の取得率と企業の見直しや効率化が進んでいるかについての差がでていられる。

● 問14 配偶者やパートナーが家族のために家事をしてきていることに対し、感謝の気持ちを伝えられていますか。

	20代		30代		40代		50代		60代		70代以上		全体		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
いつも伝えている	4	3	7	4	11	15	21	14	9	4	1	0	53	40	93
時々伝えている	5	4	6	9	19	17	21	16	15	15	2	1	68	62	130
あまり伝えていない	1	0	2	2	7	7	10	7	4	4	0	1	24	21	45
まったく伝えていない	2	2	3	3	13	9	13	7	9	3	2	0	42	24	66



「いつも伝えている」「時々伝えている」が67%であり、「あまり伝えていない」「まったく伝えていない」が33%であった。男女差は比較的少ない。これを機会に感謝の言葉をいつも伝えるひとが少しでも増えていくよう周知に務めていきたい。

● 問15 男女共同参画についてご意見などあれば、ご自由に記入ください。

(男性意見)

- ・仕事をしている女性も多い中、さらに社会活動に参加させようとするのは酷。
- ・女性は今何を一番求めているのだろう。
- ・差別と区別を混同しないように望む。
- ・若狭町と都会と同じようには無理なのはわかっているが、効率性を高め、住民の負担を軽減する必要がある。
- ・共同参画については賛同しますが、「女性は子供を産み、育てることが天命」。
- ・男女の両性の違いを、深く考えずお互い同じと思うことが間違いだと思う。
- ・男女共同参画ってどのような社会なのでしょう。

(女性意見)

- ・女性だから役員になれないと感じることはない。家庭内の状況で話し合えばいい。一番の問題は、男性の育児や介護休暇が取りづらい社会にある。
- ・このプランが策定されていることを、PRするべき。
- ・体力の必要な作業が多くあるため、男女共同参画が難しいところがある。
- ・男女共同より、全年齢参加が良い。
- ・男性女性の能力は異なるので、何もかも平等ではなく、お互いの持ち味が活かされていくことが重要。

●アンケートまとめ

今回のアンケートではいくつかの問いでかなり偏った結果が出ましたが、その中でも特に見過ごせない点は、問3の「あなたは若狭町において「男女共同参画プラン」が策定されていることを知っていますか。」という質問に対して、実に6割が知らないと答えたことです。

昨年は約7割であったため少しづつ認知されているものの、「男女共同参画プラン」が策定されてから10年が経過しているにもかかわらず、半数以上が知らないという結果が出たということは、男女共同参画推進協議会と若狭町で連携し、周知活動の改善が必要であると考えます。

また、地区によって、女性や少数意見となる立場の人の意見を反映させる取り組みがあるかどうか、役員の負担軽減について話し合いをされているか、など偏りがあり、ほとんどの集落が半数以上「ない」と回答しました。しっかりと集落で様々な世代で話し合いの場を設け、伝統を守りながら、時代に沿った対応や目安箱を設置するなど改善が必要になると考えます。

男女共同参画についての相談窓口		
機関名	電話番号	内容
若狭町総合政策課 若狭町中央 1-1	0770-45-9112	男女共同参画についての相談 地域づくりに関する情報提供・相談
若狭町福祉課 若狭町市場 20-18	0770-62-2703	介護などに関する相談
若狭町子育て支援課 若狭町市場 20-18	0770-62-2704	子育てなどに関する相談
若狭町税務住民課 若狭町中央 1-1	0770-45-9106	人権に関する相談
福井県未来創造部 女性活躍課 福井市大手 3-17-1	0776-20-0319	男女共同参画についての相談
福井県生活学習館相談室 (ユ-アイふくい) 福井市下六条町 14-1	相談専用 0776-41-7111	女性総合相談 一般相談：夫婦・対人関係、配偶者等からの暴力など こころの相談：臨床心理士による相談 法律相談：弁護士による相談（要予約）
ふくい女性活躍支援センター (ユ-アイふくい)	0776-41-4244	女性のキャリア相談、女性のための職業相談・紹介、保育所・子育て相談
福井県人権センター 福井市手寄 1-4-1 (アオッサ)	0776-29-2111	人権相談
二州健康福祉センター 敦賀市開町 6-5	0770-22-3747	配偶者からの暴力（DV）や家庭内の問題、結婚・離婚・男女問題での悩み相談、生活・就労相談、心理相談
若狭健康福祉センター 小浜市四谷町 3-10	0770-52-1300	配偶者からの暴力（DV）や家庭内の問題、結婚・離婚・男女問題での悩み相談、生活・就労相談、心理相談
敦賀警察署 敦賀市木崎 12-18-1	0770-25-0110	ストーカー行為や配偶者からの暴力などの相談
小浜警察署 小浜市遠敷 9-11-1	0770-52-0110	ストーカー行為や配偶者からの暴力などの相談
福井県警察本部捜査第一課 福井市大手 3-17-1	レディーステレフォン 0776-29-2110 フリーダイヤル 0120-292-170	性犯罪や性的いやがらせなどに関する相談
敦賀労働基準監督署 総合労働相談コーナー 敦賀市鉄輪町 1-7-3	0770-22-0745	育児・介護休業などの労働条件に関する相談
ハローワーク敦賀 敦賀市鉄輪町 1-7-3	0770-22-4220	職業相談や求人情報の提供、職業訓練や職業能力開発に関する情報の提供
ハローワーク小浜 小浜市後瀬町 7-10	0770-52-1260	職業相談や求人情報の提供、職業訓練や職業能力開発に関する情報の提供